

平成 21 年 7 月 2 日

三重県景気動向指数の公表形態移行について

三重県政策部統計室

三重県景気動向指数は、平成 21 年 4 月分公表をもって CI (コンポジット・インデックス) を中心とする公表形態へ移行しました。

1. 概要

景気動向指数とは、生産、雇用、消費など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された統合的な景気指標である。景気動向指数には、CI (Composite Index) と DI (Diffusion Index) の 2 種類がある。

CI は、採用した指標の変化率を合成、累積して作成しており、景気変動の大きさや勢いを把握することを目的とし、DI は採用した指標の変化方向を合成して作成しており、景気の転換点や局面の確認を行うことを目的としている。

本県では、平成 10 年 3 月から DI を正式指数、CI を参考指数として毎月作成し、翌々月下旬に公表を行ってきた。

2. 公表形態移行の経緯と移行に伴う変更点

今回、国 (内閣府経済社会総合研究所) が平成 20 年 4 月速報分 (6 月 9 日公表) から CI を正式指数とする公表に切り替えたことから、本県においても平成 21 年 4 月分から「三重県景気動向指数 CI」を正式指数として採用し、作成、公表することとした。なお、DI についても、引き続き正式指数として作成、公表していく。

CI の作成にあたっては、国 (内閣府経済社会総合研究所) の計算方法に準拠している。

また、景気の拡張要因や後退要因を見るための基礎資料となる寄与度や、CI による基調判断の資料となる 3 か月後方移動平均 (足元の確認) 、7 か月後方移動平均 (基調判断の確認) を新たに作成した。

3. 利用の仕方

CI は、指数の変化の大きさが景気の拡張または後退のテンポを表すとされ、景気変動の相対的な大きさや勢いといった量感を把握するのに用いられる。DI は、採用系列のうち 3 か月前に比べ改善している指標の比率のことで、これが 50% ラインを上回れば拡張局面、下回れば後退局面にあると判定するように、景気転換点や局面の判定に用いられる。

県経済の動向は、DI と CI を相互補完的にとらえ、鉱工業生産指数など経済指標各種を分析することで、総合的に分析、判断することができる。

4. 公表

県政記者クラブへの資料提供のほか、三重県の統計情報ホームページにおいても情報提供しています。(URL : <http://www.pref.mie.jp/DATABOX/keizai.htm>)